

読者(千葉) 1/28

(第3種郵便物認可)

新 報

空港近くに天然温泉



「成田空港温泉空の湯」の完成イメージ(三栄メンテナンス提供)

芝山「飛行機眺めゆっくりして」

成田空港近くの芝山町香山新田で、天然温泉「成田空港温泉空の湯」の建設が今年12月初旬の開業を目指して始まった。地元住民や空港従業員のほか、2020年東京五輪・パラリンピックで訪日する外国人客の利用を見込んでおり、運営を手がけるビルメンテナンス会社「三栄メンテナンス」(芝山町)は「飛行機を見ながらゆっくり湯につかってほしい」と話している。

12月開業目指す

空の湯の開業予定地は、空港南側に位置し、芝山鉄道芝山千代田駅から徒歩3分の距離にある。2本の滑走路の飛行ルートに挟まれ、浴場から離着陸する機体を見ることができると見込んでいる。

たいと考えた。

昨年6月に掘削を開始。温泉分析書によると、温度は29度、湧出量は毎分266リットルで、神経痛や冷え症などに効果があるという。

きっかけは、空港の機能強化策を巡る16年秋頃の住民説明会。住民から「空港の恩恵を感じていない」という声が上ががり、町民として出席していた萩原康宏社長が「地域発展に貢献できれば」と、同社が所有する駅前の駐車場を空港周辺で二つ目の天然温泉施設にし

施設は3階建てで、敷地面積は約1万3000平方メートル。1階にレストランや土産コーナー、2階にカプセルホテルや岩盤浴、3階に内湯や露天風呂を設ける。2階建ての別館には、ジムのほか、周辺を観光できるようレンタサイクルのスペースを設置する。空港と施設を結ぶシャトルバスも運

行する予定だ。今月11日には地鎮祭が行われ、同町の相川勝重町長や成田国際空港会社の椎名明彦専務らが出席した。萩原社長は「大きなポテンシャルのある町。地域のにぎわいにつなげたい」と話している。